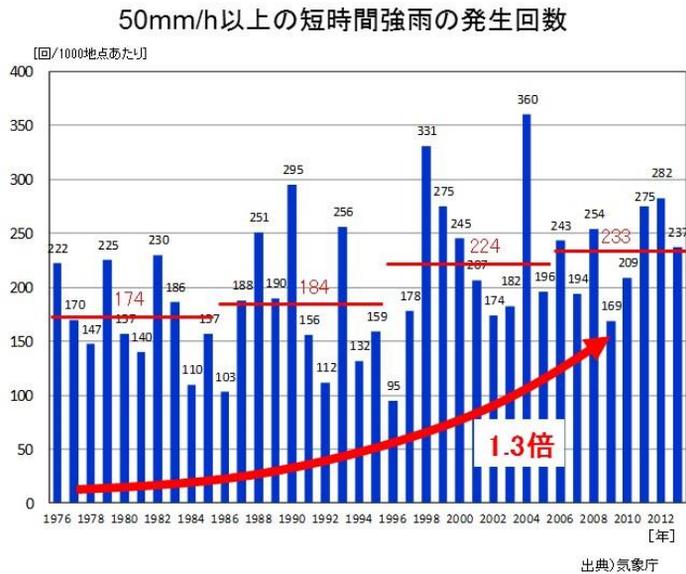


1. 増加する短時間強雨

- ・時間50mm/h以上の短時間強雨の発生件数は、1970年代に比べて、2000年代は約1.3倍に増加。



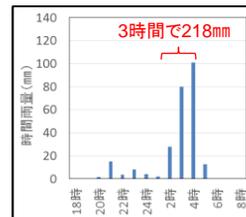
2. 短時間強雨による災害

- ・短時間強雨の発生増加にともない、各地で土砂災害等による通行止めが発生し、通行車両が巻き込まれる事態も発生。



H25.8.9 国道46号 岩手県雫石町

- ・5時間降水量が平年の8月1ヶ月間の降水量の206mmを超える216mmを記録。
- ・国道46号の9箇所で土砂流出や冠水などの災害が発生し、3日間の通行止め。

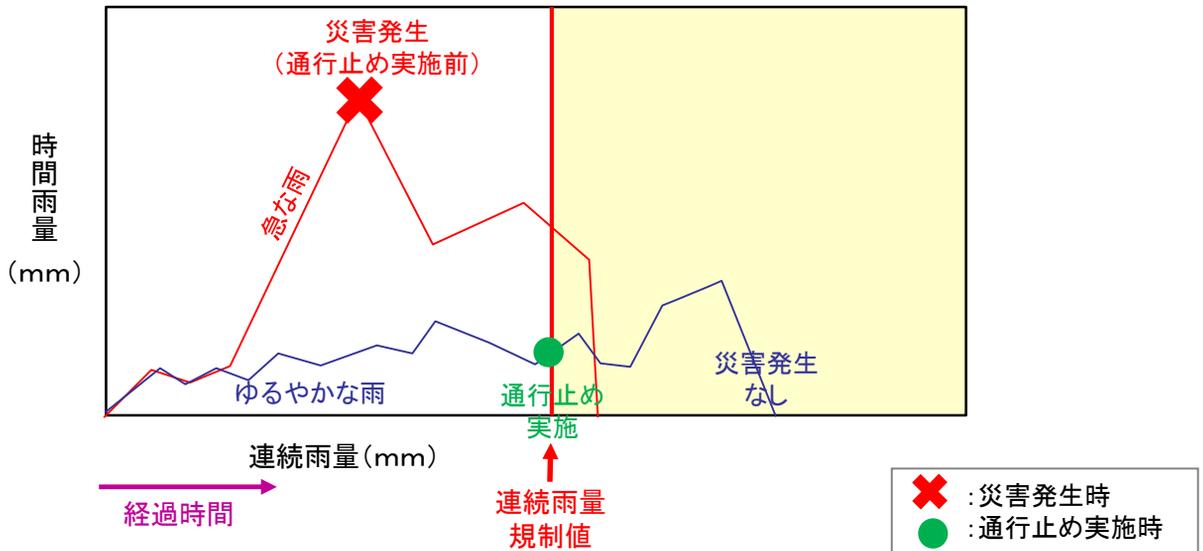


H26.8.20 国道54号 広島県広島市

- ・3時間降水量が観測史上最大となる217.5mmを記録。
- ・各地で土砂流出による災害が発生し、国道54号では、約15時間の通行止め。

1. 今までの雨量規制

- ・連続雨量(累積雨量)により雨量規制を行っており、ゲリラ豪雨等の局地的・集中的な大雨(時間雨量が大きい)に対しては、通行規制前に災害発生の場合もあり。
- ・一方、連続雨量規制値についても、経験的設定値であり、通行止めを行っても、災害発生がない場合もあり。



2. 時間雨量導入による雨量規制

- ・時間雨量を雨量規制に導入することにより、ゲリラ豪雨等の局地的・集中的な大雨に対しては、災害発生前に通行止め実施が可能。
- ・連続雨量規制値についても、適正化を行うことにより、通行止め回数の減少が期待。

